

橋本市民病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に研究等への参加をお願いすることがありますので、ご協力よろしくお願いいたします。

研究課題名	Stage II / III大腸癌治癒切除患者に対する術後補助化学療法としてのカペシタビン5日投薬2日休薬投与方法と通常投与方法(2週投与1週休薬)の治療継続に関する多施設共同ランダム化比較試験
研究担当者	橋本市民病院 外科 坂田 好史
目的・概要	stage II (high risk) 及びstage III大腸癌治癒切除症例に対して、術後補助化学療法としてカペシタビンを5日投与2日休薬投与することで、標準投薬スケジュールの2週投与1週休薬に比べて治療完遂割合(Feasibility)が増加することを検証する。 (共同治験)
研究対象 実施機関 実施場所等	対象: 20歳以上80歳以下の術後補助化学療法を行うStageII(high risk)、又はStageIIIの大腸癌症例 実施機関及び実施場所: (共同治験) 和歌山県立医科大学附属病院、済生会和歌山病院、新宮市立医療センター、公立那賀病院、和歌山労災病院、日本赤十字社和歌山医療センター、済生会有田病院、国保日高総合病院、泉大津市立病院、大阪南医療センター、橋本市民病院
研究期間	2019年8月21日～2023年1月31日
研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報の保護等	個人情報及びプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知りえた個人情報を正当な理由なく漏らさない。関係者がその職を退いた後も同様とする。 研究対象者の同意取得後は、匿名化して管理し、第三者が直接研究対象者を識別できる情報は用いない。 公表に際しては個人情報が直接公表されることがない等、研究対象者の個人情報の保護については十分に配慮する。
備考	